

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 三光産業株式会社

コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山原 剛之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 平井 孝正

TEL 03-3403-8134

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	4,924	13.4	22	—	22	—	△72	—
22年3月期第2四半期	4,343	△21.2	△200	—	△178	—	△165	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△11.66	—
22年3月期第2四半期	△26.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
23年3月期第2四半期	11,888		9,030		73.9	1,419.08
22年3月期	12,332		9,162		72.3	1,440.15

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 8,788百万円 22年3月期 8,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	10,100	6.5	120	—	130	—	84	—	13.56

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 有  
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 7,378,800株 22年3月期 7,378,800株  
② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,185,683株 22年3月期 1,185,604株  
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 6,193,173株 22年3月期2Q 6,253,425株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年5月14日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間において修正しております。なお、平成23年3月期通期連結業績予想につきましては、前回予想(平成22年5月14日付け公表)を据え置きとしております。  
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	2
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) セグメント情報 .....	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を中心とするアジア向けの輸出や生産の増加により一部で景気の回復がみられましたが、長引く円高進行や株価低迷などにより企業収益にあたる影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

印刷業界におきましては、セットメーカーの原価低減姿勢は強く、国内から海外への生産移管が進んでおり、厳しい受注環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは提案型営業力の強化をはかり、販路拡大に向けた積極的な営業活動を展開すると共に、生産効率の向上、製造原価及び販管費の低減などに力を注ぎ、業績改善に努めてまいりました。

当社グループの主要な業種別の概況は次のとおりであります。

(AV機器関連業種・・・日本、中国、マレーシアで製造、販売しております)

中国を中心とする新興国の景気拡大に支えられて、AV機器関連向けのラベル等の受注が引続き好調なことから、売上高は1,169百万円(前年同期比108.1%)となりました。

(OA機器関連業種・・・日本、中国、マレーシアで製造、販売しております)

日本においてはセットメーカーの海外への生産移管により、OA機器関連向けラベル等の売上に影響があるものの、日本、中国で新規事業のタッチパネル関連の受注量の増加により、売上高は1,961百万円(前年同期比116.4%)となりました。

(その他電気機器関連業種・・・日本、中国、マレーシアで製造、販売しております)

日本を中心にセットメーカーの業況回復により、電池パックラベル、半導体設備関連ラベル等の受注量が増加し、売上高は1,102百万円(前年同期比118.2%)となりました。

(輸送用機器関連業種・・・日本で製造、販売しております)

エコカー補助金等を背景に国内自動車メーカーの販売台数の回復により、自動車関連部品の受注量が増加し、売上高は362百万円(前年同期比139.0%)となりました。

(印刷業界関連業種・・・日本で製造、販売しております)

印刷業界の受注環境は引続き厳しく推移し、売上高は91百万円(前年同期比85.6%)となりました。

(その他の業種・・・日本で製造、販売しております)

主にアミューズメント関連業種の受注量が減少し、売上高は237百万円(前年同期比85.9%)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,924百万円(前年同期比113.4%)となりました。利益面につきましては、営業利益は22百万円(前年同期は200百万円の営業損失)、経常利益は22百万円(前年同期は178百万円の経常損失)となりましたが、四半期純損益は投資有価証券評価損等の特別損失の計上により、72百万円(前年同期は165百万円の四半期純損失)の四半期純損失となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

イ 日本

売上高は3,352百万円、セグメント損失は3百万円となりました。

ロ 中国

売上高は1,266百万円、セグメント利益は20百万円となりました。

ハ マレーシア

売上高は305百万円、セグメント損失は19百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,888百万円(前連結会計年度末比444百万円減)となりました。これは主に、償還期限が一年以内となったため長期定期預金から現金及び預金に振替えたことにより、現金及び預金が271百万円増加した一方で、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が208百万円減少したほか、上記振替えによる長期定期預金の減少500百万円等によるものであります。

負債総額は2,857百万円(同311百万円減)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少152百万円のほか、設備関係支払手形の減少等により、その他の流動負債が113百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産は四半期純損失の計上及び配当金の支払等により利益剰余金が134百万円減少したこと等により9,030百万円(同132百万円減)となりました。以上の結果、自己資本比率は73.9%(同72.3%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、たな卸資産の減少等の資金の増加要因がありましたが、有価証券や有形固定資産の取得による支払等の資金の減少要因によって、2,588百万円（前年同期比311百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失70百万円、仕入債務の減少額101百万円等の資金の減少要因はありましたが、売上債権の減少額173百万円、たな卸資産の減少額69百万円、投資有価証券評価損102百万円及び減価償却費133百万円等の資金の増加要因によって290百万円（同490百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、有価証券の取得による支出101百万円のほか、有形固定資産の取得による支出293百万円等により、346百万円（同673百万円増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、短期借入金の返済による支出（純額）39百万円のほか、親会社の配当金の支払61百万円等により101百万円（同57百万円増）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期の業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、平成23年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想の数値を修正しておりますので、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（固定資産の減価償却費の算定方法）

減価償却費の算定方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理の原則・手続の変更

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は44千円減少し、税金等調整前四半期純損失は3,368千円増加しております。

表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

（4）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,065,427	2,794,303
受取手形及び売掛金	3,134,816	3,343,247
有価証券	237,837	133,979
商品及び製品	586,625	704,302
仕掛品	132,455	103,241
原材料及び貯蔵品	296,656	287,036
その他	55,674	64,955
貸倒引当金	△4,464	△6,062
流動資産合計	7,505,029	7,425,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,100,281	1,127,965
土地	1,601,705	1,601,204
その他(純額)	951,431	897,705
有形固定資産合計	3,653,418	3,626,876
無形固定資産		
ソフトウェア	8,183	9,580
無形固定資産合計	8,183	9,580
投資その他の資産		
長期定期預金	100,000	600,000
その他	702,866	755,929
貸倒引当金	△81,348	△85,028
投資その他の資産合計	721,517	1,270,900
固定資産合計	4,383,119	4,907,357
資産合計	11,888,149	12,332,361
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,808,262	1,960,468
短期借入金	67,056	111,648
未払法人税等	20,499	16,525
賞与引当金	155,552	152,200
その他	209,279	322,806
流動負債合計	2,260,651	2,563,649
固定負債		
長期未払金	102,842	101,445
退職給付引当金	470,197	474,365
その他	24,203	30,370
固定負債合計	597,242	606,180
負債合計	2,857,893	3,169,829

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,272,820	2,272,820
利益剰余金	6,053,556	6,187,727
自己株式	△1,013,780	△1,013,717
株主資本合計	9,163,346	9,297,580
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,552	△22,461
為替換算調整勘定	△384,328	△355,982
評価・換算差額等合計	△374,775	△378,443
少数株主持分	241,684	243,395
純資産合計	9,030,255	9,162,532
負債純資産合計	11,888,149	12,332,361

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,343,394	4,924,955
売上原価	3,654,466	4,028,673
売上総利益	688,928	896,282
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	378,968	373,526
賞与引当金繰入額	78,565	79,328
退職給付費用	21,298	23,875
福利厚生費	77,825	78,769
貸倒引当金繰入額	1,366	1,147
その他	331,494	316,699
販売費及び一般管理費合計	889,518	873,346
営業利益又は営業損失(△)	△200,590	22,935
営業外収益		
受取利息	7,424	3,338
受取配当金	5,242	5,045
受取保険金	10,000	—
その他	20,028	23,700
営業外収益合計	42,695	32,084
営業外費用		
為替差損	12,532	31,655
その他	8,476	1,241
営業外費用合計	21,008	32,897
経常利益又は経常損失(△)	△178,904	22,123
特別利益		
固定資産売却益	587	36
投資有価証券割当益	—	9,226
貸倒引当金戻入額	809	4,134
特別利益合計	1,397	13,397
特別損失		
固定資産処分損	12	237
投資有価証券評価損	—	102,178
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	3,324
特別損失合計	12	105,740
税金等調整前四半期純損失(△)	△177,520	△70,219
法人税、住民税及び事業税	4,600	13,242
法人税等調整額	△8,653	△8,052
法人税等合計	△4,052	5,189
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△75,409
少数株主損失(△)	△7,616	△3,170
四半期純損失(△)	△165,850	△72,238



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△177,520	△70,219
減価償却費	133,443	133,727
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,032	△4,168
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,587	3,352
役員退職慰労未払金の増減額(△は減少)	△42,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,637	△5,277
受取利息及び受取配当金	△12,667	△8,770
受取保険金	△10,000	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	102,178
売上債権の増減額(△は増加)	△286,946	173,530
たな卸資産の増減額(△は増加)	△291,828	69,028
その他の流動資産の増減額(△は増加)	104,022	16,562
仕入債務の増減額(△は減少)	368,407	△101,993
その他	12,260	△12,877
小計	△212,085	295,074
利息及び配当金の受取額	12,667	8,770
保険金の受取額	10,000	—
法人税等の支払額	△10,237	△12,561
その他	—	△703
営業活動によるキャッシュ・フロー	△199,656	290,579
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	400,000	53,279
有形固定資産の取得による支出	△87,981	△293,121
有価証券の取得による支出	—	△101,253
その他	14,604	△5,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	326,622	△346,647
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	288,568
短期借入金の返済による支出	—	△327,904
自己株式の取得による支出	△275	△63
配当金の支払額	△43,774	△61,931
その他	△582	△302
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,632	△101,633
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,610	△16,953
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	75,723	△174,654
現金及び現金同等物の期首残高	2,823,668	2,763,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,899,391	2,588,390

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

当社グループは、接着剤付きラベル・ステッカー・パネル等の特殊印刷製品の企画並びに製造、販売という単一産業区分に属する事業を行っている専門メーカーですので、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントがありません。このため事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,476,283	867,110	4,343,394	—	4,343,394
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	596,673	22,847	619,520	(619,520)	—
計	4,072,957	889,958	4,962,915	(619,520)	4,343,394
営業損失(△)	△146,484	△38,654	△185,138	△15,452	△200,590

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……………マレーシア、香港、中国

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	アジア	計
I. 海外売上高(千円)	888,452	888,452
II. 連結売上高(千円)	—	4,343,394
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	20.5	20.5

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……………マレーシア、シンガポール、タイ国、インドネシア、フィリピン、香港、中国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## 〔セグメント情報〕

## 1. 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、接着剤付きラベル・ステッカー・パネル等の特殊印刷製品の企画並びに製造、販売を行っている専門メーカーであり、日本においては、当社及び三光プリンティング㈱が、海外においては、中国とマレーシアの現地法人が、それぞれの拠点を担当しております。

現地法人は、それぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、当社は、これらの拠点別を基礎とした地域別セグメントから構成されております。

したがって、これらの拠点における販売市場をそれぞれ別個のセグメントとして捉え、「日本」、「中国」、「マレーシア」の3つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	マレーシア	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	3,352,435	1,266,524	305,994	4,924,955
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	830,793	45,908	6,675	883,377
計	4,183,229	1,312,433	312,670	5,808,333
セグメント利益又は損失(△)	△3,681	20,372	△19,467	△2,776

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△2,776
セグメント間取引消去	25,712
四半期連結損益計算書の営業利益	22,935

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。